

月刊



平成22年11月1日発行 通巻178号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・第53回 建築士会全国大会
「佐賀大会」報告…………… 2
- ・新入会員のご紹介
- ・お詫び 近畿建築祭【第1部】
講演会題名の変更
- ・青年部会35周年記念
研修旅行2011 in 韓国ソウルの
ご案内…………… 3
- ・青年部会 あーき塾2010
高木住道場
「美しい住まいのあかり」… 4
- ・近建青杯ソフトボール大会
参加者募集…………… 5
- ・Doシリーズ No.57 予告
- ・平成22年度 第3期
一級・二級・木造建築士
定期講習受付延長します
- ・フォトコンテスト作品募集… 6
- ・「会員の声」原稿募集
- ・支部だより…………… 7
大津支部・湖南支部・湖西滋賀支部
地域の行事
- ・11月の暦…………… 8
- ・田中みきおさんの中米見聞録
〈第12回〉
- ・滋賀の街道



滋賀の街道 (第14回)

西近江路「海津湊」

西近江路は、北国海道とも称され、奈良時代から北陸と畿内を結ぶ重要なルートとして、宿駅が整備されていたという記録が残されている。現在の滋賀県と福井県を結ぶ峠越えの道（現在の国道161号に沿う旧道）は「七里半越え」と呼ばれ、その起点である海津から敦賀の湊を結び、西近江路最大の難所とされた。

平安時代中期以降になると琵琶湖を利用した船便が発達し、水運の拠点としても栄え、江戸時代には船問屋がおこり、北前船にも手を広げるなど活況を呈した。

昭和に入ってから、この湊は薪炭の荷積みや観光船によるスキー客の輸送などに活用された。

残念なことに街並みはすっかり姿を変えてしまったが、わずかに点々と往時の面影をしのばせる建物が残されている。

写真はそのひとつ、清酒「竹生嶋」の蔵元である吉田酒造の建物である。この街道では大変珍しい妻入りの母屋が、ボリューム感を与える。

第53回 建築士会全国大会「佐賀大会」 報告

(社)日本建築士会連合会の第53回全国大会「多彩な自然と文化が育む さがの地に学ぶ～未来につなぐ人の絆と建築士の役割～」に10月22日(金)から23日(土)の日程で参加してきました。前日夜の青年建築士のフォーラムの参加者を含め、合計20名での大会参加となりました。

21日夜に開催された青年建築士のフォーラムでは『みんなの街の美観を考えるこれからのゴミステーション。』、『古民家再生プロジェクト』等 いくつかのテーマに分かれてのワークショップが行われ、短時間の間に活発で様々な意見が出る有意義なものでした。翌22日の大会では、講演や式典のほか、ブース展示のセッション会場もあり、都道府県若しくは支部単位で出展されている多くの建築士の方々と交流を深めることが出来ました。また来年は大阪大会となります。久方ぶりの近畿地方開催であり、また『近畿』という大きな単位で進めている企画もあるようです。ふるってご参加頂きますようお願いいたします。



集合写真（メイン会場前にて）



ブース展示物

ブース展示物



青年建築士の集い



集合写真（伊万里秘窯の里 大川内山にて）

新入会員のご紹介

支部	氏名	住所
湖 東	山口 公己	近江八幡市

平成22年度
10月理事会承認分

お詫び

近畿建築祭【第1部】講演会題名の変更

月刊「家」10月号にてご案内いたしました近畿建築祭につきまして、【第1部 講演会・式典】の講演会題名が変更になりましたのでお知らせいたします。何卒ご了承ください。

(旧題名)『秀吉のまちづくりと近江の庭園』 → **変更後** 『浅井三姉妹と小谷城』

研修旅行2011 in 韓国ソウルのご案内

韓国の、建築・食・買・遊を満喫しましょう！

今年度は海外 Koreaにみんなで行こ〜リア

今年度の研修旅行は、韓国ソウルです。ソウルで世界的建築家による現代建築物を見学し学びます。また、現在復元中である韓国の国宝第1号に指定されている南大門（崇礼門）を見学します。

その他、ショッピングあり、遊びあり楽しい事が盛り沢山です。皆様のご参加をお待ちしております。



火災前の南大門（崇礼門）

ソウルの豆知識

日程 (予定)	平成23年2月18日(金)～20日(日)	
	2月18日	10時15分 関空 集合 11時55分 出発 ロッテシティホテル宿泊
	2月19日	9時 ホテル出発 見学・ショッピング ロッテシティホテル宿泊
	2月20日	9時 ホテル出発 14時15分 仁川空港 出発 16時 関空着 解散
行き先	韓国ソウル近辺(東大門デザインパーク & パーク、ソウル大学美術館、梨花女子大学他)	
募集人員	40名(会員及び会員家族)	
参加費	会員/70,000円 ご家族/80,000円	
申込み	下記の申込用紙に必要事項を記入の上、建築士会事務局までFAXお願いします。	
締め切り	平成22年12月25日(土) ※ただし、定員になり次第締め切ります。 参加者には後日詳細をお送りします。	

2. 研修地編	
1) ソウル大学美術館 (設計: レル・コールハース)	地上3階・地下3階、延べ面積1357坪2003年に、冠岳キャンパス正門の隣に着工し、2005年に完成、2006年6月8日に開館した。2007年10月9日には、デンマーク女王のマルグレーテ2世が訪問した。
2) 東大門デザインプラザ&パーク (設計: ザハ・ハディッド)	2011年に完成予定に向け今只建築中です。斬新な建築と都市計画をソウルの灰色地帯にもたらし、この一帯はファッション、デザイン産業の中心地になる予定です。
3) 梨花女子大学 (設計: ウィリアム・メレル・ヴォーリズ)	滋賀県に所縁のあるウィリアム・メレル・ヴォーリズの1935年の作品。世界の女子大学の中で初めて工学部を設立した事でも知られています。
4) 南大門(崇礼門)	2008年2月の放火によって石造の城門を除いた大部分が焼失した。崇礼門の火災から100日目にあたる2008年5月20日、韓国文化財庁は記者会見を開き、「崇礼門復興基本計画」を発表した。2009年12月までに発掘調査、考証、設計を行い、復元工事は2010年2月10日に工事が着工し、2012年12月に復元予定です。
5) 番外編 【宿泊先】	
名称: ロッテシティホテル 住所: ソウル市麻浦区孔徳洞423-3 (車で仁川空港から約55km 50分、金浦空港から20km 25分)	
サービス:	<input type="checkbox"/> ハンドタオル <input type="checkbox"/> ボディソープ <input type="checkbox"/> ドライヤー <input type="checkbox"/> バスタオル <input type="checkbox"/> バスロープ <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> 石けん <input type="checkbox"/> スリッパ <input type="checkbox"/> くし・ブラシ <input type="checkbox"/> 綿棒 <input type="checkbox"/> シャワーキャップ <input checked="" type="checkbox"/> 浴衣 <input type="checkbox"/> 籠飾り <input type="checkbox"/> リンス <input type="checkbox"/> シャンプー <input type="checkbox"/> 温水洗浄トイレ <input type="checkbox"/> パジャマ

今回はソウルの豆知識 3. 韓国の文化編を紹介します。

青年部会 研修旅行2011 in 韓国ソウル 申込用紙 2011.2.18(金)～20(日)

お名前 (フリガナ)	住所	連絡先 (TEL)	備考
-----〒-----	-----	-----	会員・家族
-----〒-----	-----	-----	会員・家族

お申し込みはFAXにて・・・(社) 滋賀県建築士会 事務局 <FAX.077-523-1602> (お問い合わせは... TEL.077-522-1615)

※お名前はパスポートの氏名でお願いします。

あーき塾2010 高木住道場「美しい住まいのあかり」

『どこ照らしとんねん! (怒)』のキャッチフレーズで年間100回以上の講演を行っておられるカリスマ照明デザイナー高木英敏氏の照明セミナーを「あーき塾2010」として開催いたします。

過激なタイトルや迫力のあるセミナーですが、そこには氏の熱い思いが込められております。現場で培った膨大なノウハウを基に近年の照明計画に大きくメスを入れていくその様は、まさに『目から鱗が落ちる』そのものです。是非ふるってご参加下さい。

- 日 時：平成22年11月29日(月) 受付 18:30～
19:00～21:15 (セミナーは120分程度)
- 場 所：草津市立まちづくりセンター 301号室
草津市西大路町9-6 TEL.077-562-9240
- 参加費：無 料
- 定 員：60名(ただし締切日前でも定員になり次第締め切ります。)
- 申込方法：下記申込用紙にご記入の上、(社)滋賀県建築士会事務局あてに11月19日(金)までにお申し込みください。受付が完了いたしましたら、「申込確認票」を送信いたしますので、必ずFAX番号またはメールアドレスをご記入ください。

申し込み
まだまだ
お待ちしております!!

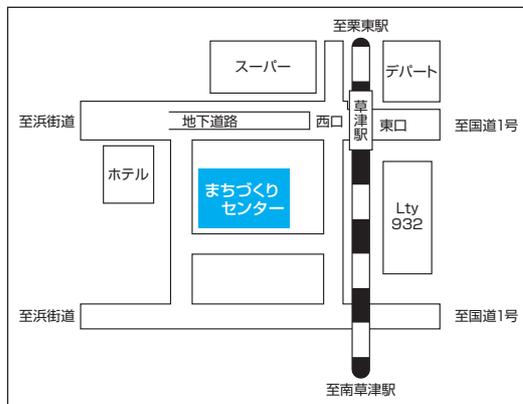


講師 ^{たか き} 高木 ^{ひで とし} 英敏氏

●大光電機株式会社 大阪TACT チーフデザイナー
プロフィール

1968年 福岡県生まれ
1990年 九州産業大学芸術学部デザイン学科工業デザイン専攻卒業
1990年 大光電機株式会社 TACT大阪デザイン課入社

大学で工業デザイン及び、重度心身障がい児の為の福祉デザインを学ぶ。大光電機入社以来、公共施設・商業施設・ホテル・アミューズメントといった幅広いジャンルの空間演出を手掛けている。近年、住宅分野への取り組みを本格化させ、住宅照明のプロフェッショナルとして活動中。実物件を手掛けながら、全国各地で年間150回以上の講演活動も行い、住宅文化の向上に貢献している。



※駐車場はありませんので、お車で越しの方は、コインパーキングをご利用下さい。

あーき塾参加申込書

11.29(月)

お名前	連絡先 (FAXまたはメールアドレス)	会員/会員外
		会 員 ・ 会員外
		会 員 ・ 会員外
		会 員 ・ 会員外

お申し込みはFAXにて・・・(社) 滋賀県建築士会 事務局 (FAX.077-523-1602) (お問い合わせは... TEL.077-522-1615)

近建青杯ソフトボール大会参加者募集

今年も恒例の近建青杯ソフトボール大会を開催する運びとなりました。

日頃運動不足で体を動かす機会がない方、ソフトボールに自信のある方!ない方!秋の夜長にスポーツを楽しんでみませんか!

近畿の仲間との交流の絶好のチャンスです。みなさまふるってご参加ください。



◆開催日：平成22年11月27日(土)〈26日の夜中〉

◆開催時間：AM 1:00集合

〈予定〉AM 2:10開会

AM 6:20終了予定

◆開催場所：京セラドーム大阪 大阪市西区千代崎3丁目中2-1

◆方式：各府県対抗トーナメント

◆参加費：一人 約5,000円

※参加人数により変動がございます。

◆定員：16名〈先着順ですのでお早めにお申し込み下さい。〉

◆申込方法：下記の申し込み用紙を11月20日(土)までにFAXまたは郵送にて(社)滋賀県建築士会事務局までお送り下さい。後日、集合場所、時間等をご連絡させていただきます。

◆郵送先：(社)滋賀県建築士会事務局 大津市におの浜1-1-18

近建青杯ソフトボール大会 参加申込書 11.27(土)

会員/会員外	お名前	当日連絡先(携帯TEL)	FAXまたはメールアドレス
会員・会員外			
会員・会員外			

お申し込みはFAXにて・・・(社)滋賀県建築士会事務局〈FAX.077-523-1602〉(お問い合わせは…TEL.077-522-1615)

Doシリーズ
No.57

女性部会主催

予告

「自然環境を考慮したライト建築の見学と最新環境対応型W発電の研修」のご案内

DoシリーズNo.57は、大阪ガス株式会社の協賛で行います。

ライト建築の見学と大阪ガスショールームにての体験研修を予定しております。

建築は、フランク・ロイド・ライト設計のヨドコウ迎賓館(旧山邑邸)、愛弟子遠藤新氏設計の甲子園会館(旧甲子園ホテル)の見学。また、大阪ガスショールーム「ディリパ千里」にてW発電(太陽光発電・エネファームについて)の研修をし、最新のガスコンロを使った調理体感を行う予定です。詳しくは月刊「家」12月号にてご案内いたします。



ヨドコウ迎賓館

●開催予定日：平成23年2月26日(土) 午前8:30(大阪ガス草津ショールーム集合)

●参加費：会員1,000円、非会員2,000円

で予定しております。

平成22年度 第3期 一級・二級・木造建築士 定期講習 受付延長します!!

月刊「家」8月号にてお知らせいたしました12月3日(金)開催の定期講習につきまして、申込期間を8月30日(月)～10月29日(金)としておりましたが、延長いたします。所属建築士の方は3年ごとに必ず受講していただかなければならない講習ですので、未受講の方は必ず受講してください。

延長します

●最終締切日：10月29日(金) → 11月19日(金)



フォトコンテスト作品募集

(社)滋賀県建築士会では、フォトコンテストを開催いたします。今年のテーマは1部「フリー」、2部「動物」で募集いたします。

昨今、動物たちが住みにくい環境になっている報道が多くなされております。身近なペットたちも含めた動物たちをもう一度フォトを通じて見つめていただきたいと思います。

会員のみなさまの自慢の作品をお待ちしております。



2010年 大賞「今津港の朝」

作品のテーマ

1部 「フリー」 (風景・建物などテーマは問いません)

2部 「動物」

応募要項

応募資格 特に制限は致しません。但し、作品は自作に限ります。

応募作品 4つ切 (カラー・モノクロ)、ワイドタイプ可
作品は未発表のものに限ります。また撮影時期、応募点数は問いません。

表彰 *大賞賞金1万円 *入選賞金5千円

募集期間 平成22年12月末日まで **審査** 主催団体が実施します。

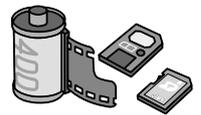
発表 平成23年5月ごろに、機関誌「家」及び滋賀県建築士会ホームページにて発表
(<http://www.kentikushikai.jp/>)

応募方法 下記応募票に必要事項をご記入していただき、作品の裏面に糊付けの上、(社)滋賀県建築士会事務局までご持参いただくか、郵送にお送りください。

送り先 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 建設会館3階
(社)滋賀県建築士会「フォトコン係」 TEL.077-522-1615

- 応募細則**
1. 入選作品の著作権は、主催者に帰属します。選外作品であっても使用することがあります。肖像権などについては、応募者の責任に於いて了解が得られているものとします。
 2. 応募作品は返却いたしません。ただし、返却希望者は郵便切手 (500円分) を同封頂ければ返却いたします。
 3. 応募票に記載された個人情報は、当コンテスト以外には使用いたしません。
 4. 応募は会員・会員の家族とさせていただきます。

主催団体 社団法人滋賀県建築士会



滋賀県建築士会 2011年 フォトコンテスト応募票

作品名			テーマ	
コメント				
応募者氏名			撮影場所	
会員氏名			撮影年	年
住所	〒	連絡先		

機関誌「家」2011年号 『会員の声』原稿募集

機関誌「家」2010年号に掲載します『会員の声』の原稿を募集いたします。日常業務や社会のこと、趣味や家族など内容は問いません。写真・資料等を含む1600字程度で原稿をお寄せください。詳しくは、(社)滋賀県建築士会事務局までお問い合わせください。

大津支部

大津祭の山を曳きました

大津支部青年委員会は10月10日(日)開催の『大津祭』に曳き手として5名参加しました。前日の宵山は生憎の雨模様ではありましたが、当日は晴天に恵まれ、多くの見物客で賑わいました。

3年連続3回目の参加となる今年は、白玉町の『西宮蛭子山』という山でした。実はこの山は松井支部長の町内の山で、かつ、山を組み立て、解体及び巡行時の指揮を行う大工方の棟梁が石倉常任幹事という、大津祭でもとりわけ大津支部と関わりの深い山です。

私たちの他の曳き手の大半が龍谷大学の学生さんということもあり、前日来の雨によって、水分を含んだ重い山でしたが、若い力で何とか無事に最後まで曳き切ることができました。巡行順も一番最後の13番目で、終盤の松屋町あたりの巡行では、観客と一緒に歩いて練り歩くオオトリならではの一体感を堪能でき、疲労感と伴って例年とは違う心地良さを感じました。



湖南支部

第5回 こなんオープン開催

去る、9月30日(日)、平成22年度ゴルフコンペ「こなんオープン」が、25名の参加のもと、朝日野カントリー倶楽部にて開催されました。

当日は、あいにくの天候となりましたが、各自、日頃の練習の成果を発揮すべくプレーを楽しみました。

湖北支部、湖東支部からも参加して頂き、あとの懇親会も含め、和気あいあいとした中、会員交流も出来、大変有意義な一日でした。

なお、優勝は、湖南支部の山元利男様でした。



湖西滋賀支部

「初秋の奈良路」

鑑真が平城京に唐招提寺を創建して1250年。天平文化の面影を伝える金堂の、約10年に及ぶ解体修理が終わり、昨秋落慶法要が営まれたところ。既にその前には東大寺の昭和大屋根修理もされています。そして今年は平城遷都1300年祭が4月より開催されています。

湖西滋賀支部では見学研修で、奈良へ行くこととしました。久しぶりに大仏様の慶顔に接して、思わず手を合わせ、生かされている喜びを感じた次第です。

大仏殿とその上にある二月堂を拝観しました。外国人の多いのには驚きました。近畿地方の国際観光都市として、さすが京都と双壁です。奈良公園で昼食、春日大社や若草山を散策しました。とりわけこの春に生まれた小鹿の可愛さには心がなごみました。

午後は、復元された朱雀門と第一次大極殿・前庭、遣唐使船復元展示を見学しました。お年寄りは会場内を無料で走行する「ハートフルトラム」を利用しました。最後は交流広場で土産物を買って、初秋の奈良を満喫しました。

(T. N)



「東大寺南大門」の前で

新宮神社の豊穰祭

草津市野路町の新宮神社では、9月14日豊穰祭宵宮、9月15日、本宮祭がおこなわれ五穀豊穰、健康祈願が宮司により祈念されました。

写真のように百灯箱の中のわらけに火をつけて奉納します。

伝統的な行事であり、永く後世に伝えていくべきであると思えます。

(草津市・K氏)



11月の暦

1	月	先負		12	金	仏滅		23	火	先負	勤労感謝の日
2	火	仏滅		13	土	大安		24	水	仏滅	
3	水	大安	文化の日	14	日	赤口		25	木	大安	
4	木	赤口	構築・連携特別委員会	15	月	先勝		26	金	赤口	近建青ソフトボール大会
5	金	先勝		16	火	友引		27	土	先勝	
6	土	仏滅		17	水	先負		28	日	友引	
7	日	大安		18	木	仏滅		29	月	先負	あーき塾 高木住道場 「美しい住まいのあかり」
8	月	赤口		19	金	大安		30	火	仏滅	
9	火	先勝	四役、委員長会議	20	土	赤口	近畿建築祭				
10	水	友引		21	日	先勝					
11	木	先負	青年部親睦ゴルフコンペ	22	月	友引					

ドミニカ通信

田中みきおさんの中米見聞録

第12回

消防車 BOMBERO はなぜ赤い

私のアパートの隣は偶然だが消防署である。私の第一印象はいささか悪いものとなった。毎日のように消防車が出るたびに聞かされるけたたましい出発の音、あるいは救急車が出発するたびに聞かされる。そしてそれは24時間ひっきりなしに起こる。夜中もおちおち眠れないのではないかと。そんな思いだった。その思いはとり越し苦労となった。ほとんど消防車が出動することはないのである。夜中に出勤したのはこれまでに2回ほどだった。火災が思った以上に少ないのである。

さて、この消防車であるが、消防署の色は淡い緑だ日本で見慣れた赤い消防車ではない。夜間と言うか夕方の見難い時に一番よく映える色がこの色だという説明だった。8年ほど前にそれまでの赤い消防車からこの色に変わった。

もう一点、消防車の正面に書かれている。消防BONBEROは少し変だ。文字がちょうど鏡に映してみたらちゃんと見えるようになっていて。前を走っている車のバックミラー越しに見るとBONBERO（消防の意味）と読めるように、わざと印字しているようだ。日本とは発想が違うようである。何年かしたら日本の消防車の色が変わるそんなことがふっと頭をよぎった。



消防車は赤ではない。また、前面に書かれた文字は鏡文字だ。



私のアパートの隣は消防署だ。簡素な事務所兼待機所と消防車が一台あるだけだった。



隣の消防署の名前は地名でなく番号である。ここは「第6消防署」

滋賀の街道

街道を挟むように街並みが形成されているが、南側はすべての建物が琵琶湖に面している。建物は消えていったが、波除の石垣が残されており、これを中心とした湖岸の風景が、「高島市海津・西浜・知内の水辺景観」として、2008年に重要文化的景観に選定された。

街道からは、北側の家からも湖岸を利用できるように、家と家との間に辻子ずしと呼ばれる通路が取られており、石垣はその部分で断続性をもちつつつながっている。家々では自前の移動式栈橋を持ち、炊事や洗濯などに活用していた。

西近江路「海津湊」



石垣と辻子



栈橋